キ　内容のCについては，次のとおり取り扱うものとすること。

(1)，(2)及び(3)については，幕府や藩の法令，地域に残る村方（地方）・町方文書，浮世絵などの絵画や出版物などの資料や，それらを基に作成された資料などから適切なものを取り上げること。(3)のアの(ｱ)については，長崎，琉球，対馬，松前藩やアイヌの人々を通して，それぞれオランダ，中国，朝鮮との交流や北方貿易が行われたことについて取り上げること。

ク　内容のDについては，次のとおり取り扱うものとすること。

(1)，(2)及び(3)については，日記，書簡，自伝，公文書，新聞，統計，写真，地図，映像や音声，生活用品の変遷などの資料や，それらを基に作成された資料などから適切なものを取り上げること。(3)のアの(ｱ)については，明治維新や国民国家の形成などの学習において，領土の画定などを取り扱うようにすること。その際，北方領土に触れるとともに，竹島，尖閣諸島の編入についても触れること。(3)のアの(ｳ)については，第二次世界大戦の学習において，この戦争が人類全体に惨禍を及ぼしたことを基に，平和で民主的な国際社会の実現に努めることが大切であることを認識できるようにすること。(3)のイの(ｱ)，(ｲ)，(ｳ)及び(ｴ)については，地域社会と日本や世界の歴史的な変化との関係性に着目して具体的に考察できるようにすること。(3)のイの(ｵ)については，(1)から(3)までの学習のまとめとして，日本の近現代の推移を踏まえ，生徒が近現代を通した歴史の中に，根拠をもって画期を見いだし表現できるよう指導を工夫すること。その際，事象の因果関係，地域社会と日本や世界などの相互の関係性，政治や経済，社会，文化など歴史の諸要素の関係性など，様々な側面から構造的に整理して考察できるようにすること。(4)については，この科目のまとめとして位置付けること。その際，生徒の生活や生活空間，地域社会との関わりを踏まえた主題を設定するとともに，歴史的な経緯や根拠を踏まえた展望を構想することができるよう指導を工夫すること。

第５　世界史探究

１　目　標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

２　内　容

Ａ　世界史へのまなざし

(1) 地球環境から見る人類の歴史

諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識を身に付けること。

(ｱ) 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に，人類の歴史と地球環境との関わりを理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 諸事象を捉えるための時間の尺度や，諸事象の空間的な広がりに着目し，主題を設定し，地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し，表現すること。

(2) 日常生活から見る世界の歴史

諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識を身に付けること。

(ｱ) 衣食住，家族，教育，余暇などの身の回りの諸事象を基に，私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 諸事象の来歴や変化に着目して，主題を設定し，身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し，表現すること。